

平成26年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	北堀 中澤
	全体計画						経費区分		-		内線	3254
事務事業名	4128 公衆トイレ管理事業											
所 属	140100 環境部・生活環境課											
施 策	03011300 環境衛生施設の整備											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	040105 衛生費・保健衛生費・環境衛生費										
	事業	050000 公衆トイレ管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
環境衛生施設の適正な管理						使用者に快適な環境施設を提供する						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
適切な施設管理を行った	適切な施設管理を行った
平成24年度 実績	平成25年度 実績
適切な施設管理を行った	適切な施設管理を行った
平成26年度 予定	平成27年度 予定
適切な施設管理を行う	適切な施設管理を行う

指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		7,407	1,775
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		7,407	1,775
人員数(人)	正規職員	0.2	0.2
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.2
人員コスト	正規職員	1,371.6	1,371.6
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	235.4
	計	1,371.6	1,607.0
市民一人当たりの経費		0.2	0.1
総額		8,778.6	3,382.0

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	3	
11節 需用費	733	
13節 委託費	964	シルバー人材センター管理業務委託料 清掃業務委託料
15節 工事請負費	5,512	村山駅前公衆トイレ公共下水道接続工事
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	195	

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	4	
11節 需用費	1,040	消耗品 光熱費 修繕料
13節 委託費	671	シルバー人材センター管理業務委託 清掃業務委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	60	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	誰もが安心して利用できる環境を整える必要がある。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	利用頻度に応じた維持管理が必要。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	利用者へ負担を強いることはできない。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
快適な衛生施設を提供した

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（縮小）
総合評価コメント	
老朽化が著しい公衆トイレの改修や清掃など施設管理を継続し、快適な利用環境を維持するため、必要且つ有効な施策である。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
市内6か所の公衆トイレを清潔に維持管理し、市のイメージアップに貢献していると考ええる。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	